

小・中学校 授業づくりシート		学年	小6	内容項目	正直，誠実
指導観	「発達の段階一覧表」を踏まえた				
	内容項目の理解	実態把握		教材の活用	
	自律的に物事を判断できる発達の段階と中学校で内容項目の「正直，誠実」と「善悪の判断，自律，自由と責任」が統合されることを踏まえ，自己の生き方に対する自分なりの誠実さを考えさせたい。	客観的な思考が育ち，他者との関係を気にして，周囲に流される児童が多い。自分にうそをつかず，明るく生きることのよさに気付かせたい。		教材は「手品師」を活用する。行為の結果とともに行為の動機を十分に考えることができる発達の段階を踏まえ，手品師が自分の心に向き合って行為を決めた場面に焦点を当て，児童が自分なりの誠実さを考えるきっかけにしたい。	
ねらい	手品師が自分の心に向き合って行為を決めた場面について考えることをきっかけとして，自分なりの誠実さを考え，自分にうそをつかず明るく生きようとする道徳的判断力を育てる。				
手立て	「みんなにとって，誠実にするとはどうすることか」をテーマ発問に設定し，発問に対する児童の反応を具体的に想定して補助発問や問い返しを準備する。				
指導の手立ての具体（想定した児童生徒の反応から目指す姿までの過程）	 みんなにとって，誠実にするってどうすることかな。 自分のやることを一生懸命に続けることかな。 私は夢や目標に向かって真面目に頑張ることだと思う。 迷っても自分が決めたことを信じてやること。 言った約束はしっかり守ること。 自分の心をごまかさないこと。 みんなの中にいろいろな誠実があるね。じゃあ，みんなが誠実にできたことってある？ 自分はやっぱり夢や目標を持って頑張りが誠実さなのかな，と思う。 自分が最初に決めたことを大切にして，それを最後までやることだと思うんだよね。 私にとっては，●●をすることが誠実だし，大事にしてきたんだけど・・・。 私もそうかも。 みんなの中にはそれぞれ誠実さがあるね。友達の話聞いて，大切にしたいと思ったことはありますか。 人の気持ちを裏切らないことも大切だね。 自分はやっぱり信念を大切にすること。 私は，自分にうそをつかないことを大切にしたい。 何をしても，自分を信じてやってよかったって思えることをすることかな。				

第6学年道徳科学習指導案

指導月日 令和〇年〇月〇日

授業者 〇〇 〇〇

1 主題名 誠実に生きる「A-（2）正直，誠実」

教材名 「手品師」（東京書籍 新しい道徳6）

2 指導観

(1) 内容項目の理解

本主題は、小学校学習指導要領の次の内容を受けて設定されたものである。

第3章 特別の教科 道徳 第2 内容 「正直，誠実」
〔第5学年及び第6学年〕
誠実に，明るいいで生活すること。

「正直，誠実」についての高学年に対する指導では，他の人の受け止めに気をすることなく，自分自身に誠実に生きようとする気持ちが外に向けても発揮されるように配慮する必要がある。そこで，よくないことと知りつつも，周囲の考えに流されることがや傍観者として過ごしてしまうことなく，自分の考えや信念に誇りをもって決断できるように指導していく。なお，小学校の内容項目「正直，誠実」と「善悪の判断，自律，自由と責任」は，中学校では「自主，自律，自由と責任」に統合される。本主題は，小学校最後の「正直，誠実」の内容項目の指導であることを考慮し，中学校を見据えて，自分なりの誠実さを考えつつ，児童がよりよい行いを考えて主体的に行動しようとする判断力を育てたい。

(2) 実態把握

この時期は，自律的な態度が発達し，自分で行為の判断ができるようになる。また，客観的な思考が育ち，動機と結果の両面を意識する等，多面的・多角的な見方が育ってくる段階である。

本学級の児童は，失敗や過ちを犯してしまったときには，隠すことなく友達にしっかりと話すことができる様子が見られる。一方で，特定の友人と関わるが多くなることから，相手との関係をこれまで以上に強く意識するようになり，自分が正しいと思っても行動できない状況が生じている。そのため，友人関係のトラブルに巻き込まれ相談を受ける事案や，学校生活アンケートで「友達に対してははっきりと言えないことに悩んでいる」等の回答が見られるようになってきた。今後，心身が発達して思春期を迎えることで，他者との関係を気にして，他人の言動に左右される児童が多くなると想定される。そこで，自分にうそをつかず，明るく生きることのよさに気付かせたい。

(3) 教材の活用

本教材は，主人公の手品師が，自分の夢や友人の誘い，男の子との約束など様々に悩みつつ，最後は自分の心に向き合って決断したことに誇りを持って行動する内容である。手品師は，自分の心に向き合った結果，男の子との約束を選ぶ。その心の裏には，親友への感謝や友情，男の子との約束に対する義務，大劇場に立つ夢等，様々な心の迷いと葛藤がある。そこで，本時では，行為の結果とともに行為の動機を十分に考慮できる発達の段階を踏まえ，手品師が自分の心に向き合って行為を決めた葛藤場面に焦点を当てるように教材を活用し，児童が自分なりの誠実さを考えるきっかけにする。そして，自分の見方や考え方と比較して手品師の意思決定について考えることを通して，自分なりの誠実さを捉えさせたい。

3 本時の指導

(1) ねらい

手品師が自分の心に向き合って行為を決めた場面について考えることをきっかけとして、自分なりの誠実さを考え、自分にうそをつかず明るく生きようとする道徳的判断力を育てる。

(2) 手立て＜発問の工夫＞（授業づくりシート参照）

「みんなにとって、誠実にするとはどうすることか」をテーマ発問に設定し、発問に対する児童の反応を具体的に想定して補助発問や問い返しを準備する。

(3) 指導過程（別ページ）

(4) 評価

＜児童の評価＞

○「誠実さ」について考えを交流し合うことで、誠実な生き方についての考えは様々なものがあることを受け止めようとしていたか。（多面的・多角的）

○手品師が自分の心に向き合って行為を決めた場面について考えることをきっかけとして、自分なりの誠実さを考えることができたか。（自分との関わり）

＜指導方法の工夫に対する教師の評価＞

○自律的な態度が発達し、客観的な思考や動機と結果の両面を意識する等の多面的・多角的な見方が育ってくることを踏まえ、テーマ発問を設定して考えを深めさせたことは妥当であったか。

(5) 準備物

教師：教科書，ワークシート，提示絵

(6) 板書計画

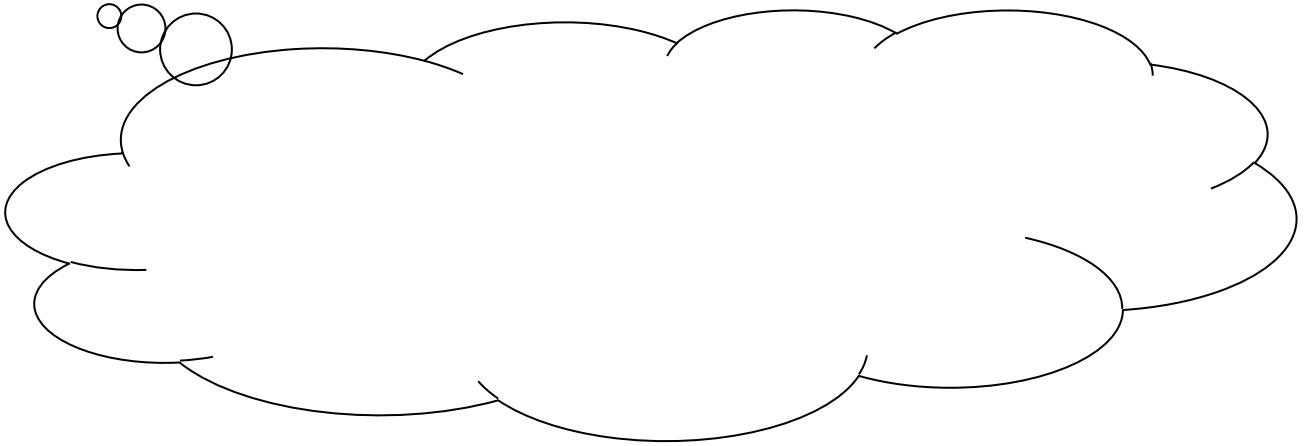
手品師 「誠実にする」とは、どうすることか。	手品師 うではない 売れない 大劇場に立つこと↓夢	男の子と約束する 場面の挿絵	大劇場 ・ せっかくのチャンス ・ 友達の思い ・ これまでの努力	友達からの電話を 受ける場面の挿絵	男の子との約束 ・ 先に約束をした ・ 自分はやると決めた ・ 笑顔でうれしい	誠実にするとは？ ・ 先に約束したこと ・ 夢を求めること ・ 自分の心に向き合う ・ 後悔しない ・ 自分に素直でいること ・ よく考えて行動すること
--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------	--	------------------------------	--	---

指導過程

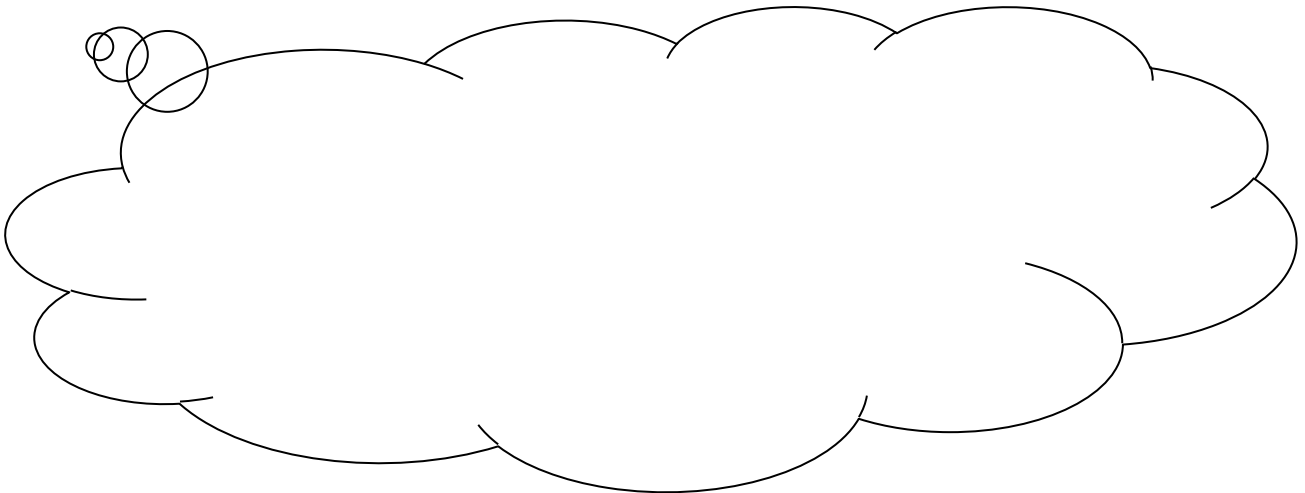
段階	学習活動 ○基本発問 ◎中心発問	予想される児童の反応	指導上の留意点 ○評価 【 】評価方法
導入 5分	1 主題に関わる問題意識を持つ。 ○誠実な人とはどのような人ですか。	・真面目な人。 ・うそをつかない人。 ・ちゃんと話を聞く人。	<手立ての具体> ・「 <u>みんなにとって、誠実にすることはどうすることか</u> 」をテーマ発問に設定し、発問に対する児童の反応を具体的に想定して補助発問や問い返しを準備する。
	みんなにとって、誠実にすることは、どうすることか？		
展開 35分	2 教材を読み、誠実について考える。 ○読んだ感想や疑問を持ったことはありますか。	・自分は男の子との約束を守ったところがすごいと思いました。 ・大劇場に行く夢を叶えなくてよかったのかな。 ・友達がかawaiiそうだな。 ・本当にこれでよかったのか。 ・男の子のところに行っても、劇場に行きたい気持ちは残る。 ・大劇場に行っても、男の子のことは気になる。 ・迷って決められないよね。 ・でも、やっぱり劇場に行くことが大切なんじゃないかな。 ・自分は、最初に約束したことを守ることが誠実だと思うよ。 ・どっちが大切なだろう。	・読む前に、手品師の状況や登場人物を丁寧に押さえてから読む。 ・読んだ後に、感想を聞くことを伝える。 ・様々な思いや感想を受け止めながら、迷う手品師の心情に焦点を当てる。 ・自分なりの価値観で誠実さを語らせると共に、友達の考えを聞きながら、自分なりに「誠実さ」について考えさせる。 ○多面的・多角的 【発言、表情】
	3 自己の生き方について考えを深める。 ◎あなたにとって、誠実にすることはどうすることですか。	・自分はやっぱり夢や目標に向かって真剣に頑張っていることだと思う。 ・私にとってはやっぱり、自分が一度決めたことをやり続けることだと思う。 ・やり続けることも大切だけど、ぼくは人の考えをよく聞いて、考えることだと思った。 ・自分はこんなことが誠実だと思っていたけど、友達の考えを聞くとまた違うんだな。	・手品師の「ぼくにとっては」を取り上げ、自分にとっては「誠実にすることはどうすることなのか」を考えさせる。 ・友達の考えや経験を聴き合う時間を確保し、多様な考え方を理解できるようにする。 ○自分との関わり 【発言、ワークシート】
終末 5分	4 道徳的価値に対する思いや考えをまとめる。	・私だったら、「やっぱり夢を追いかけたいな」と思う。手品師の決断はなんかモヤモヤする。	・教師が、自分なりに真剣に考えて向き合った経験を伝え、余韻を残す。

誠実にする

誠実にするとは？



学級で話し合って・・・



あなたにとって今日の道徳は・・・

スッキリ・なるほど！

モヤモヤ・悩んだ・・・。